

発行：青森市議会（中央一丁目22-5 TEL：017-734-5743 FAX：017-734-5824）編集：議会広報広聴特別委員会

市議会の新たな構成を決定 議長に大矢保議員、副議長に竹山美虎議員を選出

就任あいさつ

先般、議員各位の御推挙をいただき、県都、中核市の議長並びに副議長に就任させていただきました。

身に余る光栄でありますとともに、責任の重さを痛感し、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、本市議会では、平成26年11月25日に任期満了を迎え、新たに35人の議員で今後4年間、市民を代表し、市政運営を監視・評価

していくこととなりました。

本市議会では、平成25年2月に議会基本条例を制定し、開かれた議会を目指し、市民の皆様と政策に関して意見交換を行う報告会の開催やさまざまな議会改革に向けた取り組みを掲げ、市民の皆様の負託に応えられるよう努めております。

今後とも、市民の皆様が、健やかで笑顔で暮らせるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、より一層の御支援をお願いいたします。

第2回臨時会の概要

市議会議員選挙後初の平成26年第2回臨時会が11月26日から28日までの3日間の会期で開かれました。なお、臨時会の開会に先立ち、議長及び副議長志願者の所信表明会を初めて開催しました。（議長志願者2人、副議長志願者2人）

開会日に行われた議長と副議長の選挙の結果、議長に大矢保議員が、副議長に竹山美虎議員が選出されました。また、青森市議会委員会条例の一部改正案、青森市議会会議規則の一部改正案が全会一致で可決され、議会運営委員の選任が行われました。閉会日には、各常任委員会委員の選任、特別委員会の設置及び委員の選任、専決処分承認、農業委員会委員の解任請求・同委員の推薦、3つの一部事務組合議会議員の選出が行われました。（詳細は2・7・8ページに掲載。）

■議長・副議長選挙の結果

【議長選挙】（有効投票32票）

当選 大矢 保 17票

小倉 尚裕 15票

【副議長選挙】（有効投票30票）

当選 竹山 美虎 21票

館田 瑠美子 9票

主な内容

第2回臨時会の概要 P1

第4回定例会の概要 P2

総括質疑一般質問 P2 P3~P6

常任委員会別議員名簿 P7~P8

予算特別委員会 P6・P9~11

傍聴者の声 議員提出議案 P11

議案・諮問・陳情等審議結果 P12~P13

委員会の活動 P13~P14

平成26年11月28日現在

会派別特別委員会・議会運営委員会の構成

委員会 会派(人数)	特別委員会			議会運営委員会 (9)
	雪対策 (12)	まちづくり対策 (11)	議会広報広聴 (12)	
自民清風会(8)	館山 善也 小豆畑 緑 長谷川 章悦	中田 靖人 ◎木戸 喜美男 渋谷 勲*	木戸 喜美男 里村 誠悦	中田 靖人 ◎長谷川 章悦
新政無所属の会 (8)	花田 明仁 小田桐 金三 奥谷 進*	小倉 尚裕 丸野 達夫	中村 美津緒 ○奈良岡 隆 中村 節雄	奈良岡 隆 中村 節雄
日本共産党(6)	葛西 育弘 ◎館田 瑠美子	村川 みどり 藤原 浩平*	山脇 智 天内 慎也	山脇 智 村川 みどり
市民クラブ(5)	工藤 健 ○秋村 光男	奈良 祥孝 竹山 美虎	木下 靖*	奈良 祥孝
公明党(4)	山本 武朝	赤木 長義*	軽米 智雅子 ◎渡部 伸広	○渡部 伸広
社民党(3)	斎藤 憲雄*	○藤田 誠	仲谷 良子	仲谷 良子
無所属(1)			橋本 尚美	

◎…委員長 ○…副委員長 ※…会派代表者

第4回定例会の概要

平成26年第4回定例会は12月1日から24日までの24日間の会期で開かれ、青森市特別職の職員との給与に関する条例等の一部を改正する条例や、除排雪対策事業費、除細動器設置事務費、降雹被害果緊急支援事業費、平成27年度以降の米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入促進支援事業費の債務負担行為設定を含む一般会計補正予算など53件が可決・修正可決・同意されました。(審議結果は12(13)に掲載) また、市政全般に関する一般質問は、4日間にわたり19人の議員が行いました。以下、可決された主な議案、総括質疑、一般質問、予算特別委員会の質疑、可決された議員提出議案、常任・議会運営・特別委員会の開催状況等をお知らせします。

可決された主な議案

本定例会で市長から提案され、可決された主な議案をお知らせします。

○青森市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

市長、副市長の給料月額及び議員報酬額を改定するとともに、これに準じ、浪岡区長、公営企業管理者、常勤の監査委員及び教育長の給料月額も改定するため、改正するもの。

○平成26年度青森市一般会計補正予算(第7号・第8号)

補正額 5億1千448万9千円
主な予算として
特別職職員等給与・報酬関係
(△594万8千円)

※市長、副市長、浪岡区長、常勤の監査委員及び教育長の給料月額並びに議長、副議長、議員の報酬月額の改定に要するもの。
除排雪対策事業
(1億4千38万9千円)

※労務単価の上昇等に伴う委託料の増額などに要するもの。
除細動器設置事務
(70万4千円)

※市有施設の除細動器(AED)設置基準について、国のガイドラインを参考に直直しを図

り、効果的かつ効率的な設置・配置に要するもの。

降雹被害果緊急支援事業
(85万円)

※平成26年9月12日発生の降雹で被害を受けたリンゴ農家に対する、被害果の出荷費用の一部助成に要するもの。

米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入促進事業
(加入者拠出金の10%相当額)

※米価下落に伴う稲作農家への支援を行うため、平成27年度から29年度まで、国の「コメ・畑作物の収入減少影響緩和対策」の加入者の拠出金助成に要するもの。

総括質疑

2人の議員が延べ5議案に対し、総括質疑を行いました。その中から、一議員につき一項目を取り上げ質疑及び答弁の要旨を掲載します。

公明党 赤木 長義

問 今回の青森市特別職報酬等審議会からの答申、8%削減の58万1千円は、議員報酬のあるべき額との認識であるが、市では、さらに本市の経済状況等及び議会の考え方も踏まえ、2%の削減

を加えて56万9千700円という額を議会に提案したという認識でよいか。

答 答申額は、議員報酬の水準として合理的なものと考えているが、議会からは、答申額をさらに下回る額とすべきとの意見が出された。議員の職責や活動内容の水準が維持されることを前提として慎重に検討した結果、市の財政状況等を考慮し、議会の意見を重く受けとめ、答申額にさらなる削減を加えた形で提案したものである。

無所属 橋本 尚美

問 議員報酬に係る平成24年度の青森市特別職報酬等審議会における15%削減の答申と、平成26年度の8%削減の答申では、約2倍の差があるが、市はこの乖離をどのように受けとめているか。

答 平成24年度は、議員報酬の削減率を主な議論として15%削減という結論に至り、平成26年度は、議員の職責等に応じた適正額を求める議論の結果、58万1千円という結論に至ったものである。したがって、異なる観点からによる算定方法の違いと言えるが、適正な議員報酬額を算定する方法が定められていない中、その時点における、それぞれの考え方や根拠による妥当なものと考えている。

一般質問

数多くの質問項目の中から一議員につき一項目を取り上げ、質問及び答弁の要旨を掲載しています。

旧西部学校給食共同調理場の跡地利活用について

日本共産党 村川みどり

問 地元からさまざまな声が寄せられている旧西部学校給食共同調理場の跡地利活用について、市はいつまでに方向性を示すのか。

答 当該施設の跡地利活用については、平成26年7月に各部署の担当職員が、施設の安全性を確認するための現地調査をした結果、事務所部分の外壁に多数のひび割れ、劣化による外周通路床の傾き、漏水している屋根の全面的な改修の必要性、構造上、耐震補強の実施が困難であることなどが確認された。市としては、この調査結果を踏まえ、早急に当該施設の利活用を検討し、平成26年度内に結論を提示したいと考えている。



(施設利活用の検討が進められている旧西部学校給食共同調理場)

男女共同参画社会推進のための条例制定について

社民党 仲谷良子

問 男女共同参画を推進するために、市として条例の制定を検討する考えはないか。

答 市では、平成8年10月に男女共同参画都市を宣言して以来、男女共同参画社会基本法に定められた地方公共団体の責務を果たし、平成24年に策定した青森市男女共同参画プランの着実な推進を図つ

ているため、これまで条例を制定してこなかったものである。平成27年度は同プランの改定時期であり、さまざまな観点からの検討の中で、有識者等からの意見を伺い、男女共同参画をより効果的に進めるための方策の一つとして、条例制定の必要性も検討したいと考えている。

外国人観光客向けの無料WiFiについて

市民クラブ 工藤健

問 本市における外国人観光客向けのインターネット接続サービスである、無料WiFiサービス現在の現状と取り組みを寄せ。

答 同サービスは、平成25年2月から、市、青森観光コンベンション協会、青森商工会議所、NTT東日本青森支店が共同で展開しており、全国では4例目、東北では初の全国の中でも先行した取り組みである。サービスを受けるために必要なWiFiカードは、観光案内所、空港、宿泊施設等の協力を得ながら16カ所配布しており、サービスが受けられる市内の地点は、サービス開始時の69カ所から、平成26年9月末現在では310

カ所と大幅に増加している。

米の概算金大幅下落への対応について

公明党 山本武朝

問 平成26年産米の概算金が、7千600円と昨年より3千200円も大幅に下落したが、市の対応を寄せ。

答 市では、営農資金確保のための国・県の事業を周知するほか、国保税等の減免の周知、相談に努めていく。また、国と農業者の拠出により減収額の一部を補填する「コメ・畑作物の収入減少影響緩和対策」については、農業者拠出金が負担となることや制度の周知不足等により市における加入率が低いことを、農業者拠出金の1割を助成する、本市独自の事業を平成27年度から3カ年実施し、米価変動に備える自助体制を確立し、本市稲作経営の安定と持続的な発展につなげていきたい。

市スポーツ施設における人工芝の導入について

新政無所属の会 中村美津緒



(天然芝が導入されている「みちぎんドリームスタジアム(青森市スポーツ会館)」の多目的グラウンド)

問 市スポーツ施設の天然芝のグラウンドは、管理・維持のために利用時間が制限されている。利用時間拡大のため、人工芝の導入が必要と思うが、市の考えを寄せ。

答 市スポーツ施設のグラウンドの天然芝は、人工芝と比較し、プレー上の危険が少ないなどの理由により導入したものであり、現時点では、既存の天然芝を有効活用したいと考えている。しかし、近年は人工芝の性能が向上し、プレー上の危険性が少なくなったことに加え、天然芝に比べて維持管理が容易になることで利用時間の拡大や大幅な経費削減等のメリットがあることから、今後、人工芝の是非を検討していきたい。

青森市スポーツ広場の施設について

公明党 赤木 長義

問 BMXやスケートボードができる施設を、青森市スポーツ広場などに設置する考えはないか。

答 教育委員会としては、さまざまなスポーツを振興していく上で、施設の需要を把握する必要があり、考えており、まずは、市内の愛好者等と意見交換を行うとともに、他都市の整備状況等の調査を行いたいと考えている。その上で、次期青森市スポーツ推進計画の策定に向けた、平成27年度の作業の中で、BMXやスケートボードを含むエクストリームスポーツと呼ばれる、新たなスポーツの推進を検討項目としていきたい。



〈BMX競技用自転車 (BMXとは、20インチ径ホイールを持つ競技用自転車。またはそれに乗って行う競技のこと。)

33人学級の拡大について

市民クラブ 木下 靖

問 33人学級の拡大に関する教育委員会の考えとその進捗を示せ。

答 教育委員会では、小学校の第4学年は、人間関係の多様化、授業時数の増加や内容の高度化が生じ始めるなど、大変重要な時期であり、教員が寄り添ったきめ細かな指導と支援等が必要と考え、第4学年への33人学級の拡大について関係部局と協議してきた。その結果、少人数学級編制の市単独実施に向けた財政環境が整えられたことから、教育委員会定例会での審議、議決を受け、現在、県教育庁等と市単独で任用する講師等の配置や手続等に関する協議・相談を行い、平成27年度からの実施に向けて諸準備を進めている。

小学校第4学年を33人学級とする効果について

自民清風会 小豆畑 緑

問 小学校の33人学級を第4学年に拡大することの効果を示せ。

答 小学校の33人学級は、教員が

一人一人の子どもと向き合う時間を確保し、よりきめ細かな学習指導が可能となり、また、いじめや不登校等の問題に、より適切に対応できることから、子どもたちの学力向上や健やかな成長を図る上で大変効果的であると認識している。この33人学級を第4学年に拡大することは、人間形成や学習面における諸課題への対応が可能となるとともに、小学校高学年、中学校での円滑な教育活動にも効果的であると考えている。

バス交通戦略について

社民党 斎藤 憲雄

問 バス交通戦略を練り直す上でのポイント及び市民バスの今後の進め方並びに考え方を示せ。

答 バス交通戦略を見直すポイントとして、支線選定の妥当性、骨格線・幹線の起終点のみならず一定規模のターミナル機能を有する拠点での乗り継ぎ、市民と交通事業者と市が連携した進め方や手法を検討している。今後は、地域公共交通を取り巻く大きな環境変化に対応しつつ、国の動向等も注視しながら、平成28年度末に策定予

定の地域公共交通網形成計画の中で、具体的な取り組み内容を整理する。その中で、市民バスの新たな路線、既存路線のあり方についても検討していく。

都市公園のトイレの洋式化について

日本共産党 山脇 智

問 都市公園に設置してある和式だけのトイレを、洋式トイレに改善できないか。

答 市では、高齢者や障害者の方への配慮や、家庭や学校での普及により、洋式トイレが一般的となっていることから、都市公園のトイレの洋式化も必要であると考えており、基本的には、トイレ棟の経過年数や老朽化などを勘案し、トイレ棟の改築などの際に洋式化を行っている。今後も、その取り組みを基本とするが、来園者の多い公園については、利用状況やトイレ棟の構造などを総合的に検討し、トイレの洋式化を判断していきたい。



青森港の整備について

自民清風会 中田 靖人

問 青森港の整備は、国及び県の事業であるが、同港の整備には、市も具体的なビジョンを持ち、連携を図るべきと思うがどうか。

答 同港に関する市のこれまでの主な取り組みは、県や市内の民間経済団体、観光団体等と、国内外の船会社に対するポートセールスや客船入港時の歓迎式典等の実施であり、その結果、平成26年度の客船寄港実績は東北で最も多くなっている。同港の発展は、物流や交流といった地域経済の活性化につながることも、また、災害発生時の防災拠点の面も有していることから、引き続き国及び県に同港の整備を積極的に働きかけていく。



〈青森港 (一部) の航空写真〉

浪岡地区の雪対策について

日本共産党 天内 慎也

問 市は、浪岡地区住民アンケートの結果を重く受けとめ、雪対策の改善を進めていくとしているが、その内容を示せ。

答 同地区の雪対策の主な改善点は、平成25年度から全町内会を対象にした市民・事業者・市の三者による除排雪調整会議を開催することで、地域情報等を共有しながら協力体制を構築し、きめ細かな除排雪を実施したこと、昨冬の豪雪を踏まえ、除排雪本部体制を見直し、地域の実情に応じた体制強化を図ったこと、除雪パトロール後の大雪への対応として、気象予報や道路状況を勘案し、委託業者と連絡を取り合い、深夜、早朝の除雪指示を可能としたことである。

可燃ごみの減量に向けた取り組みについて

日本共産党 葛西 育弘

問 市内事業者に対し、個人情報等の機密文書である紙類を現在ど

のように処理しているか、溶解式の処理方法があることを知っているかなどの実態調査をすることにより、ごみの減量につながると思うが、そのようなアンケート等を実施する考えはないか。

答 事業所における機密文書処理の実態調査、また機密性を保持した形での再資源化の方法があるという情報提供は、紙類を焼却ごみから再資源化への転換を図る上で、非常に有効な手段であると認識している。アンケートについては、その結果が有効な情報として利用できるよう工夫を凝らしつつ、その実施を考えていきたい。

ひきこもり対策について

公明党 渡部 伸広

問 平成26年10月のNPO法人全国引きこもりKHJ親の会青森支部の発足を受けて、青森市子ども・若者支援地域協議会では、ひきこもり対策について、どのように取り組んでいくのか示せ。

答 ひきこもり対策については、各分野の協力・連携による包括的な支援、他職種による支援が必要と考えている。よって、今後は、

NPO法人全国引きこもりKHJ親の会青森支部の協力も得ながら、青森市子ども・若者支援地域協議会において、ひきこもりの方の支援のあり方や具体的な支援策等の協議を進めていきたい。

65歳以上の障がい者への障がい者福祉について

日本共産党 館田 瑠美子

問 障害者総合支援法第7条では、65歳になった障がい者は原則として介護保険サービスが優先されるとして、全国各地で障害者福祉の支援が制約されてしまうという事例が発生しているが、本市の状況はどうなっているのか。

答 国の通知では、一律に介護保険サービスを優先させるのではなく、介護保険サービスの支給量や内容で十分なサービスが受けられない場合には、障害福祉サービスによる上乗せが認められている。本市では、相談支援事業所や居宅介護支援事業者等と連携し、介護保険利用開始前後でサービス内容や支給量が大きく変化しないよう、適切な運用に努めている。

兄弟姉妹と同じ保育所への入所について

無所属 橋本 尚美

問 既に兄弟姉妹が保育所に入所しており、同じ保育所へ新規に入所申し込みをする場合、現在の基準以上に、入所の優先度を高くすることはできないか。

答 これまで以上に兄弟姉妹と同じ保育所に入所できる環境を整えるため、新たに、兄弟姉妹が既に希望する保育所に入所している場合は、保育の必要な優先度を高くすること、産前産後休暇または育児休業取得前から兄弟姉妹が入所している保育所を希望する場合は、一定の枠内で行っている入所選考の枠をさらに広げることなどの検討を行っており、平成27年1月までには、入所選考基準を含む要領を定めることとしている。

市直営の地域包括支援センターについて

新政無所属の会 奈良岡 隆

問 人口減少と超高齢社会にある本市にとって、地域福祉の中核となる地域包括支援センターの役割

は今後ますます大きくなると思うが、現在の委託型ではなく、市直営の基幹型地域包括支援センターをつくる考えはあるか。

答 地域包括支援センターがその機能を果たし、効率的に運営できる環境づくりは、市の責任で行わなければならないものと認識している。現在策定中の第6期青森市高齢者福祉・介護保険事業計画の高齢者専門分科会でも、困難事例に対応し、統括する役割を持つ市直営の基幹型センターの必要性についての意見が出ていることから、専門職の配置等、関係部局と協議しているところである。

生活保護ケースワーカーの適正配置について

社民党 藤田 誠

問 生活保護制度の適正な運営を確保する観点から、国が定めるケースワーカー1人当たりの担当世帯数の標準は80世帯とのことだが、それを本市で満たすためにはケースワーカーが15人不足しているとのことである。この不足を解消する人員配置は行わないのか。

答 リーマンショック以降、本市でも生活保護の受給世帯が非常に

増加しており、ケースワーカー1人当たりの担当世帯数は、青森地区で98世帯、浪岡地区で90世帯となっている。本市のケースワーカーは恒常的に不足しているが、関係部局と協議し、限られた人員の中で、できる限り適正な配置に努めていく。

高齢者肺炎球菌予防接種の個別通知について

公明党 軽米 智雅子

問 平成26年10月1日から定期予防接種となった高齢者肺炎球菌予防接種は、対象者に個別通知を行っている県内他市より本市の接種率が低いことから、本市でも個別通知を行うべきではないか。

答 当該予防接種の周知としては、市の所有施設、指定医療機関等へのポスター掲示やチラシの配置、「広報あおもり」や市ホームページへの掲載などのほか、満65歳となり介護保険第1号被保険者となった方への被保険者証等の郵送の際にも情報提供している。平成26年度予防接種対象者への個別通知については、接種済みの方を除き、平成27年1月中旬に、はがきを郵送する予定である。

特別会 算員 予委

予算特別委員会では、平成26年度一般会計・各特別会計・各企業会計補正予算が審査され、一般会計補正予算については、修正案(修正案の概要は11ページに掲載。)が可決すべきものと決定され、それを除く各補正予算については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定されました。以下は、同委員会での主な質疑応答をまとめたものです。

市民クラブ 工藤 健

問 職員提案制度において採用された提案は、その後、実施されているのか。

答 自由提案や課題提案において、市民サービスや事務効率等の向上の観点から、実施または実施に向けて検討するとされた職員提案は、所管部に対し、実施に向けた具体的な検討及び対応等を依頼している。そのほか、実績報告型提案で優良な事例は全職員に公表しており、その取り組みが全庁的に広がることで、市民サービスや事務効率等の向上が期待できるものと考えている。

自民清風会 里村 誠悦

問 田茂木野地区飲雑用水の維持管理について、施設を所有・管理している防名沢簡易水道利用組合に施設整備の全体像を確認し、可能な支援を検討することについて

あつたが、その後の経過を示せ。

答 同組合では、施設の改修に多額の費用が見込まれることから、組合として、どのような改修をするか決めかねており、いまだに施設整備の全体像は示されていない状況である。今後も引き続き、施設整備の全体像を同組合に確認しながら、内容に応じて、市として可能な支援を検討していきたい。

日本共産党 村川 みどり

問 住宅用地特例の適用漏れのうち、時効経過分の返還額を算出するに当たって、納税者側に3割の過失があると市が判断した理由は何かを示せ。

答 市では、課税明細書の「住宅用地区分又は家屋建築年」の欄に、住宅用地にもかかわらず、「非住宅」と表記されている場合は、課税誤りを確認・判断できることから、納税者にも過失があるものと

考え、当該事案の内容、条件等が類似している大阪高等裁判所の判例に準じ、市の過失が7割、納税者の過失が3割と判断したものである。

市民クラブ 奈良 祥孝

問 本市に本社等がない会社からリースされている償却資産は、申告漏れが考えられるが、納税者であるリース会社に契約情報を求めることはできないか。

答 市外にあるリース会社から申告漏れの可能性もあることから、平成27年度の申告対象者向けの申告書発送時において、借り主である市内の事業者から、リースを受けている資産の所有状況等について情報提供等をいただくための書類を同封し、提出された書類をもとに、リース会社に対して申告を求めるとしている。

新政無所属の会 中村 節雄

問 各種選挙の投票率向上のため、期日前投票所を増設すべきではないか。

答 期日前投票所の増設に当たっては、地域バランスを考慮し、一定期間投票所としての使用が可能な施設の確保、期日前投票管理シ

ステムの回線の設置等の経費や投票事務に習熟した事務局職員等の配置など、財源や人的資源の確保等の課題がある。しかしながら、期日前投票者数が選挙を行うことに増加していることから、その推移を見きわめながら検討する必要があるものと認識している。

日本共産党 天内 慎也

問 青森市浪岡総合保健福祉センター内の老人福祉センターの畳は劣化が進んでいるため、取りかえるべきではないか。

答 同施設の畳については、経年劣化による変色や傷みの進行を確認している。施設の修繕は、専門的、技術的観点から安全性、緊急性等の観点で早急に改善すべきもの、ある程度時間的猶予の得られるものを整理し、限りある財源の中で効率的、効果的に行うこととなるが、同施設の畳の取りかえについては利用者に不便が生じないように、さらに検討していきたい。

無所属 橋本 尚美

問 ファミリーサポートセンター事業において、サポート会員が自分の車で利用会員の子どもを送迎中に事故に遭った場合、双方

・ 文教経済常任委員会(9人) ・

市民生活部、経済部、農林水産部、教育委員会及び農業委員会に関することを担当します。

	く どう けん ◎工藤 健 (57) 2期
	①市民クラブ ②矢田前字本泉23-59 ③017-726-5770
	たて やま よし や ◎館山 善也 (47) 2期
	①自民清風会 ②古川2-3-17 ③017-777-5623
	やま わき さとし 山脇 智 (33) 2期
	①日本共産党 ②勝田2-7-3 ③017-734-2330
	かる まい ちか こ 軽米 智雅子 (53) 1期
	①公明党 ②西大野1-13-10 ロイヤルガーデン大野D-102 ③017-718-3886
	なか むら みつ お 中村 美津緒 (40) 1期
	①新政無所属の会 ②新城字山田601-4 ③017-787-1162
	き ど きみ お 木戸 喜美男 (61) 2期
	①自民清風会 ②新城字福田7-1 ③017-788-3426
	まる の たつ お 丸野 達夫 (48) 4期
	①新政無所属の会 ②三内字沢部275-12 ③017-783-2658
	なか や りょう こ 仲谷 良子 (74) 6期
	①社民党 ②筒井字八ツ橋191-15 ③017-738-3900
	あき むら みつ お 秋村 光男 (67) 4期
	①市民クラブ ②千刈1-22-1 ③017-766-1588

・ 総務企画常任委員会(9人) ・

市民政策部、総務部、財務部、消防、選挙管理委員会、監査委員、出納及び浪岡事務所に関すること及び他の常任委員会の所管に属しないことを担当します。

	なか むら せつ お ◎中村 節雄 (54) 3期
	①新政無所属の会 ②赤坂1-28-24 ③017-742-3560
	たて だ る み こ ◎館田 瑠美子 (67) 4期
	①日本共産党 ②油川字中道36-45 ③017-787-2457
	あま ない しん や 天 内 慎也 (40) 2期
	①日本共産党 ②浪岡大字長沼字北藤巻36-13 ③0172-62-4335
	やま もと たけ とも 山本 武朝 (56) 2期
	①公明党 ②筒井字八ツ橋205-21 ③017-738-5221
	お くら たか ひろ 小倉 尚裕 (57) 6期
	①新政無所属の会 ②浪岡大字浪岡字稲村19-9 ③0172-62-2059
	さい とう のり お 斎藤 憲雄 (62) 5期
	①社民党 ②富田1-30-27 ③017-782-7514
	きの した やすし 木下 靖 (54) 4期
	①市民クラブ ②桂木3-15-22 ③017-776-2513
	は せがわ しゅう えつ 長谷川 章悦 (65) 7期
	①自民清風会 ②浪岡大字北中野字天王101-2 ③0172-62-2306
	しぶ たに いさお 渋谷 勲 (64) 7期
	①自民清風会 ②八ツ役字芦谷319-7 ③017-739-7906

議会が推薦・選出した委員等

■農業委員会委員の推薦(4人)

工藤 健 館田瑠美子 小豆畑 緑
奥谷 進

■青森地域広域消防事務組合議会議員の選出(9人)

奈良 祥孝 軽米智雅子 奈良岡 隆
葛西 育弘 天内 慎也 藤田 誠
木戸喜美男 小豆畑 緑 花田 明仁

・ 民生環境常任委員会(9人) ・

環境部、健康福祉部及び病院に関することを担当します。

	◎ ^{ふじ わら こう へい} 藤原浩平(68) 7期 ①日本共産党 ②原別4-2-29 ③017-736-6562
	○ ^{あか き みち よし} 赤木長義(52) 4期 ①公明党 ②小柳6-9-12 ③017-742-0891
	^{たけ やま よし とら} 竹山美虎(53) 2期 ①市民クラブ ②桜川4-16-6 ③017-752-1614
	^{か さい いく ひろ} 葛西育弘(48) 2期 ①日本共産党 ②堤町1-5-10 松村アパート2号 ③017-777-8447
	^{ふじ た まこと} 藤田誠(61) 2期 ①社民党 ②沖館1-8-31 ③017-782-5043
	^{さと むら せい えつ} 里村誠悦(66) 4期 ①自民清風会 ②幸畑1-8-3 ③017-728-3894
	^{あ ず は た みどり} 小豆畑緑(68) 4期 ①自民清風会 ②新城字山田665-42 ③017-788-5813
	^{お た ぎ り きん ぞう} 小田桐金三(80) 10期 ①新政無所属の会 ②小柳3-15-2 ③017-741-8810
	^{おく や すすむ} 奥谷進(80) 7期 ①新政無所属の会 ②奥内字宮田8-1 ③017-754-2031

・ 都市建設常任委員会(8人) ・

都市整備部、企業局水道部及び企業局交通部に関することを担当します。

	◎ ^{なか た やす ひと} 中田靖人(43) 3期 ①自民清風会 ②原別1-2-38 ③017-736-3651
	○ ^{な ら おか たかし} 奈良岡隆(64) 3期 ①新政無所属の会 ②桜川2-4-5 ③017-742-0302
	^{はし もと なお み} 橋本尚美(52) 2期 ①無所属 ②桜川8-17-44 ③017-741-9019
	^{な ら よし たか} 奈良祥孝(54) 7期 ①市民クラブ ②岡造道3-4-33 ③017-741-6333
	^{むら がわ} 村川みどり(41) 3期 ①日本共産党 ②浪館前田4-21-3 ③017-781-6809
	^{わた なべ のぶ ひろ} 渡部伸広(47) 3期 ①公明党 ②羽白字沢田654-20 ③017-787-0439
	^{はな た あき ひと} 花田明仁(62) 5期 ①新政無所属の会 ②自由ヶ丘1-9-13 ③017-741-3336
	^{おお や たもつ} 大矢保(64) 6期 ①自民清風会 ②野沢字川部24 ③017-739-3299
<p>〔記載例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎…委員長 / ○副委員長 ()…平成26年11月26日現在の満年齢 ・期数…当選回数(旧市町の当選回数も通算) ・①…所属会派 ②…住所 ③…電話番号 	

議会が推薦・選出した委員等

■黒石地区清掃施設組合議会議員の選出(2人)
天内 慎也 長谷川章悦

■青森地域広域事務組合議会議員の選出(9人)
山脇 智 館山 善也 奈良岡 隆
工藤 健 山本 武朝 村川みどり
斎藤 憲雄 花田 明仁 渋谷 勲

問 車の破損やけがなどへの保険は、どのように適用されるのか。

答 現在加入している保険では、サポート会員及び利用会員に対する傷害保険による補償として、死亡、後遺障害、入院、手術、通院の各状況に応じた保険金が支給されることとなっているが、事故による相手方のけがや車両などの物損、サポート会員の車両の修理への補償は適用外となっている。



〈青森市古川二丁目3-13で開設されている青森市病児一時保育所 (TEL017-777-0987)〉

への供給体制を確保するための、子ども・子育て支援事業計画の策定作業を進めている。この中で実施した病児一時保育所のニーズ調査結果では各地区に需要があったことなどから、同計画において、まずは東部地区、浪岡地区への開設を検討し、西北部地区へは計画期間内での開設を検討している。

公明党 山本 武朝

問 来春の青森管内の高校卒業予定者の就職内定状況と、市が実施している若年者雇用対策を示せ。

答 平成26年11月末時点の高等学校卒業予定者の就職内定率は、前年同月を10・6ポイント上回る69・2%となっている。若年者雇用対策としては、職場での仕事の進め方等のノウハウなどを身につけて定着を図る、若手社員ブラッシュアップセミナーの開催のほか、平成26年度は新たに、市内事業所で正規雇用に向けた実務研修を行う「チャレンジ！若年者等正規雇用拡大支援事業」を実施している。

問 子育て中の保護者の仕事と子育てを両立させる意味からも、現在1カ所である病児一時保育所を増設すべきと思うがどうか。

答 市では、市内を4地区に分け、各地区の教育・保育等の需要

日本共産党

藤原 浩平



新政無所属の会 小倉 尚裕

問 道の駅アップルヒルをリンゴのテーマパークとすることについて、市長の考えを示せ。

答 リンゴをテーマとした場合、食に関することのほか、子ども・家族の憩いの場、あるいは、リンゴに関する芸術・文化・音楽の場など、いろいろなことが考えられる。アップルヒルを中心に、リンゴのテーマパークという形でレベルアップできれば、結果として浪岡地区全体のシティブロモーションとなることから、そういう点では取り組むべき課題だと考える。

市民クラブ 竹山 美虎

問 米価下落対策として、種子購入費助成など、農業者に対する直接的な支援を行う考えはないか。

答 国では、米の直接支払交付金の年内支払いやセーフティネット資金の1年間無利子化等の対策を講じ、県では、稲作経営特別セーフティネット資金利子補給の資金対策など、農業者の所得回復に取り組んでいることから、市では、今後の安定的な農業経営につながる国の「コメ・畑作物の収入減少影響緩和対策」に加入する担い手農業者に対して、拠出金の一部を助成することとしたものである。

自民清風会 木戸 喜美男

問 米価下落対策として3年間実施する米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入促進支援事業の助成額は総額で幾らになるのか。

答 当該事業は、米や麦などの販売収入が標準的な収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補填する国の対策への加入促進を支援するために実施する事業である。農業者が積み立てる拠出金の1割、10アール当たり約600円を助成することとしており、平成27年度からの3年間の助成総額は約2千880万円と見込んでいる。

公明党 赤木 長義

問 モヤヒルズで、子どもたちが楽しめるスノーチュービングを行えるようにすべきと思うが、市の考えを示せ。

答 モヤヒルズでは、現在、そりで遊べるコーナーをキッズゲレンデに設置している。より多くの子どもたちにモヤヒルズを利用し、楽しんでいただけるよう、モヤヒルズ利用者の会や保護者の声などを参考としながら、イベントやサービスの充実を図る中で、チュービングの実施についても、安全性を考慮しながら、前向きに検討していきたい。

日本共産党 葛西 育弘

問 排雪のために重機が敷地内に乗り入れることに関して、地権者から同意が得られなかった市民雪寄せ場は、容量を超えた時点でその役割が果たせなくなる。排雪をする中で、シーズンを通して市民雪寄せ場として利用できるよう、地権者に対し同意が得られるような働きかけをすべきと思うがどうか。

答 市では、現在、同意を得られなかった理由の確認作業を進めているところであり、今後、確認結果を踏まえて判断していきたいと考えている。



〈市民の雪片づけに利用されている市民雪寄せ場〉

新政無所属の会 中村 美津緒

問 市道平和台1号線の通学路にある急な坂道は、歩道融雪にすべきと思うが市の考えを寄せ。

答 歩道融雪については、中心市街地など特に歩行者が多い歩道や地下道・歩道橋など構造上除雪が困難な歩道、川などへの転落のおそれがある橋の歩道部など、特に積雪、凍結の防止が必要な歩道に整備している。当該箇所は、除排雪実施計画において、ハンドガイド式小型除雪機等での除雪を基本としており、現場パトロールや情報提供等により、状況確認をしながら適宜対応していきたい。

新政無所属の会 奈良岡 隆

問 青森駅西口駅前広場等基本設計業務では、調査段階で地元の意見を聞き設計に取り入れるべきと思うが、市の考えを寄せ。

答 同業務は、現在の同駅西口の課題整理のほか、路線バスの乗降場やタクシープール、車椅子用駐車施設や駐輪場の適切配置、観光バス乗降場、送迎用の短時間駐車施設、歩行者動線における融雪各乗降場の上屋など、同駅西口の交通結節機能として必要な施設を検討するものである。地元へは、業務の進行状況に応じて説明し、意見を聞いていきたい。

市民クラブ 木下 靖

問 AED設置施設関係者及び市民に対する、AEDを用いた心肺蘇生法などの教育、訓練の取り組み状況を寄せ。

答 青森地域広域消防事務組合では、教育、訓練等を含む応急手当の講習について、事業所等から依頼があった際は事業所等で講習を行っている。消防合同庁舎では、AEDの使用方法を含めた個人向けの普通救命講習を毎月第2水曜日に開催しており、今後も、講習用ビデオの貸し出しなど、AEDの使用方法を含む心肺蘇生法の普及啓発に取り組んでいきたい。

公明党 軽米 智雅子

問 歩行者の安全確保のため、消火栓の色を暗闇にまぎれない、もっと明るい色に変えることはできないか。

答 本市の消火栓の色は、降雪期にも目立つ等の理由から赤色としている。赤色は約9割の自治体が採用していることから、大規模災害時に県内外から応援を受けられる場合の認識が容易であり、現時点での変更は考えていないが、道路状況等により目立たない消火栓には、反射テープの張りつけなどの視認性向上対策を講ずること、安全の確保に努めていく。

社民党 仲谷 良子

問 高齢者の方がバス停留所のコンクリート土台に座っているのをよく見かけるが、バス停留所にベンチを設置できないか。

答 バス停留所へのベンチの設置には、歩道幅員の確保や固定式ベンチを原則とするなどの道路法上の基準があるほか、上屋がない場所に設置した場合は、雪に埋もれるなどの管理上の課題があり、基本的には、待合所を整備した際にベンチの設置に努めている。市民から要望があり、これらの課題が解消される場合には、可能な限りベンチを設置していきたい。

社民党 藤田 誠

問 石江地区一般保留地購入費助成事業の補助率見直しにより、助成金の総額は幾らになるのか。

答 市では、同地区一般保留地の販売強化対策として、平成24年12月に同事業による補助金を創設し、平成27年度までを集中売却期間と位置づけ販売強化に努めてきた。しかしながら、鑑定評価により予定処分価格と実勢価格の乖離を認識したことから、現行20%から30%の補助率を32%から34%に改正することとし、見直し後の助成金総額は、約7億6千万円から約10億7千万円となる見込みである。



〈青森駅西口駅前広場の航空写真〉



〈泉川保育園で行われたAEDを使用した救命講習の様子〉

自民清風会 舘山 善也

問 サンドームの主練習場は現在利用休止となっているが、早期利用再開に向けた市の考えを寄せ。

答 サンドームの主練習場の利用再開に向けて、現在、土と碎石の全面入れかえ工事のための設計業務を行っており、業務終了後は、速やかに再開時期等を周知し、平成27年度早々には工事に着手したいと考えている。このことは、サンドームを安全に安心して利用できるように再開するための一番の近道であると考えている。

自民清風会 長谷川 章悦

問 浪岡自治区地域協議会から要望のあった基金の設立は、浪岡地区の地域振興や人材育成、特色あるまちづくりを進める上で有効と考えるが、市の検討状況を寄せ。

答 基金の設立は、市としての一体性を保持しながらも、自治体住民主体による自治の確立と特色あるまちづくりを目指す上で有効であり、地域振興に大いに役立つものと考えている。現在、庁内で共通認識を持ちながら関係部局で協議中であり、具体的な使途、運営方法等は、議会を初め、同協議会の意見を踏まえて検討していきたい。

傍聴者の声

平成26年第2回臨時会の傍聴者数は12人で、御意見等はございませんでした。

平成26年第4回定例会の傍聴者数は52人で、1人からごみ減量化に関しての市に対する御意見をいただきましたので、関係部局に周知しました。

予算の修正案について

本委員会では、平成26年度一般会計補正予算(第7号)のうち、固定資産税の住宅用地特例の適用漏れに係る過誤納金の返還に伴い必要となる時効経過分(補助金)については、返還割合を7割として返還するという内容の経費であるが、この件については一旦棚上げし、返還割合については、次期定例会に向けて熟慮すべきであるとの理由により、今回の7割分として返還する経費を削減する修正案が提出され、提出者の説明の後に修正案に対する質疑が行われ、採決の結果、修正案は可決すべきものと決し、修正可決した部分を除く部分は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議員提出議案

全会一致で可決された条例

青森市議会の委員会条例の一部を改正する条例の制定について

常任委員会の委員の定数を改正するもの。

全会一致で可決された規則

青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

地方自治法第100条第12項の規定による協議または調整の場として設置していた議会広報広聴委員会を廃止するもの。

全会一致で可決された意見書

米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書

平成26年産米の概算金は大幅に引き下げられており、今後も価格低迷が続けば、再生産に必要な採算ラインを割ることも懸念され、農業経営への影響は避けられな

当市議会は、第2回臨時会及び第4回定例会において、議員提出議案8件のうち、条例1件、規則1件、意見書5件を可決しました。以下は、可決された条例等の要旨をまとめたものです。なお、各意見書はそれぞれ関係機関に提出されます。

は国際的に見ても大き過ぎ、35人以下の学級を他の学年にも広げていくことこそが求められており、国は教育予算の引き上げにこそ取り組むべきである。

山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書

い。よって、国に対し、米の需給と価格の安定及び需要拡大対策への取り組み、農業経営の安定や食料の安定供給、農業が担う多面的機能の維持や地域活性化を図る上で必要な収入減少影響緩和対策、緩和対策へ移行するための円滑化対策に十分な予算を確保することのほか、交付金の早期支払いなどを強く求める。

山村における経済力の培養と住民の福祉向上、地域格差の是正と国民経済発展に寄与することを目指すとした山村振興法の期限を平成27年3月末に迎えるが、山村地域の現状と果たす役割の重要性を踏まえ、地域振興・地域林業の確立に向け、国は同法を延長し万全の対策を講じる必要がある。よって、国に対し、同法の延長及び内容の拡充を図ること及びその延長に当たっては都市と山村の格差是正を主眼とした対策に加え、山村地域が果たす多面的機能の発揮に係る国としての責務を明確にすることなどを強く求める。

「女性が輝く社会」の実現に関する意見書

ギ、資源、食料品など幅広い分野で価格が押し上げられ、中小企業の経営が悪化するなど深刻な影響が懸念されている。よって、国に対し、中小・小規模事業者が持つ技術・アイデアを製品化し、販路開拓まで一貫支援するため、地域の公設試験場等と連携した研究開発、中小企業基盤整備機構等と連携した販路開拓などの地域の中小企業を守る振興策を強力に推進するよう求める。

40人学級再開検討に反対する意見書

平成23年度から公立小学校1・2年生で順次実現してきた35人学級に対して、財務省は、平成24年度はむしろ小学校のいじめや暴力行為に占める小学1年生の割合がふえていること、平成25年度全国学力・学習状況調査の結果で平均正答率が悪化するなど、「明確な効果があったとは認められない」として、40人学級に戻す方針を提示したが、わずか数年のデータで傾向を導き出すのは余りに乱暴である。日本の公立学校の学級規模

賛成多数で可決された意見書

地域の中小企業振興策を求める意見書

平成26年8月以降の過度な円安により、多くを輸入に頼るエネルギー

政府は、女性の活躍を成長戦略の柱の1つと定め、「2020年に指導的地位に占める女性の割合30%」との目標を掲げ、女性活躍担当相を新設した。今後は、我が国が世界で最も「女性が輝く社会」を実現していくための取り組みを確実に進めつつ、一層加速化していかなければならない。よって、国に対し、女性が幅広い分野で活躍できるよう、職場復帰等の支援や起業支援、在宅テレワークの推進など、女性が働きやすい環境整備のための支援措置を創設することなどを強く求める。

平成26年第2回臨時会 議案 審議結果一覧

全会一致で原案可決・承認となった案件（賛成：34 反対：0）

- 青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- 専決処分の承認について（平成26年度青森市一般会計補正予算（第6号））

平成26年第4回定例会 議案・諮問・陳情 審議結果一覧

賛否が分かれた案件	自民清風会		新無所属の会		日本共産党		市民クラブ		公明党		社民党		無所属		採決結果
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
■平成26年度青森市一般会計補正予算（第7号）【修正案】	7			8	6		5		4		3		1		可決
■平成26年度青森市一般会計補正予算（第8号）	7		1	7		6	5		4		3			1	原案可決
■青森市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	7			8		6	5		3	1	3		1		原案可決
■青森県市町村総合事務組合への加入について	7			8		6	5		4		3		1		原案可決
■青森市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	7		1	7		6	5		4		3			1	原案可決
■地域の中小企業振興策を求める意見書	7			8		6		5		4		3		1	原案可決
■「女性が輝く社会」の実現に関する意見書	7			8		6	5		4		3			1	原案可決
■原発再稼働の中止を求める意見書		7	1	7	6			5		4	3		1		否決

全会一致で原案可決となった案件（賛成：34 反対：0）

- 平成26年度青森市一般会計補正予算（第7号）【修正案を除く部分】
- 平成26年度青森市各特別会計補正予算（計10件。うち第1号は1件、第2号は7件、第3号は2件）
・各企業会計補正予算（計3件。うち第1号は1件、第2号は1件、第3号は1件）
- 青森市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
- 青森市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
- 青森市浪岡健康増進施設条例の制定について
- 青森市史編さん委員会条例を廃止する条例の制定について
- 青森市役所支所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 青森市児童福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び青森市障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市一般廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市病院料金及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 青森市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について（5件。施設名は以下のとおり（施設名の青森市は省略）
小牧野遺跡保護センター及び小牧野遺跡観察施設、浪岡中央児童館等、文化観光交流施設、アップルヒル、新青森駅西口駐車場及び新青森駅南口駐車場
- 青森市との間の消防団事務の委託の廃止について
- 青森地域広域消防事務組合
- 黒石地区清掃施設組合規約の変更について
- 市道の路線の廃止について
- 市道の路線の認定について
- 米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書
- 40人学級再開検討に反対する意見書
- 山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書

全会一致で同意された案件

（賛成：33 反対：0 除斥：1）

- 監査委員の選任について
丸野 達夫 議員

（賛成：33 反対：0 除斥：1）

- 監査委員の選任について
赤木 長義 議員

（賛成：34 反対：0）

- 財産区管理委員の選任について
（土橋財産区）神 勇一氏 （大平財産区）穂元 慶一氏、吉田 覚氏 （金浜財産区）田辺 兼雄氏 （野内財産区）和田 幸之進氏
- 人権擁護委員候補者の推薦について
田中 昌子氏

全会一致で棄却すべきであると答申することになった案件（棄却すべきであると答申することに賛成：34 反対：0）

- 下水道使用料の督促処分に対する異議申立てに係る諮問について（計3件）
- 下水道使用料の徴収処分に対する審査請求に係る諮問について（計2件）

平成26年第4回定例会 議案・諮問・陳情 審議結果一覧(続き)

全会一致で継続審査となった案件(継続審査とすることに賛成:34 反対:0)

- まちづくりの運営に関する陳情(その1)
- まちづくりの運営に関する陳情(その2)
- まちづくりの運営に関する陳情(その3)
- まちづくりの運営に関する陳情(その4)
- パチンコ依存症対策に関する陳情(その1)
- 月1回の政策研究会開催に関する陳情(その1)
- 月1回の政策研究会開催に関する陳情(その2)
- 事業仕分け制度に関する陳情(その1)
- 事業仕分け制度に関する陳情(その2)
- 首長の定例会見オープン化に関する陳情(その1)
- 首長の定例会見オープン化に関する陳情(その2)
- 公正な議長選挙制度に関する陳情
- 反問権、反論権の付与に関する陳情
- 議員のフェイスブック利用促進に関する陳情(その1)
- 議員のフェイスブック利用促進に関する陳情(その2)
- 青森市議会基本条例に関する公聴会の開催に関する陳情
- 議会の参考人制度に関する陳情
- 議会のペーパーレス化に関する陳情(その1)
- 議会のペーパーレス化に関する陳情(その2)
- 議会の存在意義の周知徹底に関する陳情
- 青森市議会傍聴規則の改正に関する陳情(その1)
- 青森市議会傍聴規則の改正に関する陳情(その2)
- 青森市議会傍聴規則の改正に関する陳情(その3)
- 青森市議会傍聴規則の改正に関する陳情(その4)
- 週末議会・夜間議会の開催に関する陳情
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その1)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その2)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その3)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その4)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その5)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その6)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その7)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その8)

- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その9)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その10)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その11)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その12)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その13)
- 議会ウェブサイトの刷新に関する陳情(その14)
- 議会報告番組の作成に関する陳情(その1)
- 議会報告番組の作成に関する陳情(その2)
- 陳情者の口頭陳述の機会に関する陳情(その1)
- 陳情者の口頭陳述の機会に関する陳情(その2)
- 陳情者の口頭陳述の機会に関する陳情(その3)
- 議会SNS開設に関する陳情(その1)
- 議会SNS開設に関する陳情(その2)
- 議会メールマガジン発行に関する陳情(その1)
- 議会メールマガジン発行に関する陳情(その2)
- 政治倫理向上対策に関する陳情(その1)
- 政治倫理向上対策に関する陳情(その2)
- 議会動画配信の改善に関する陳情(その1)
- 議会動画配信の改善に関する陳情(その2)
- 議会と住民の対話の場に関する陳情(その1)
- 議会と住民の対話の場に関する陳情(その2)
- 議会と住民の対話の場に関する陳情(その3)
- 議会活動の可視化に関する陳情(その1)
- 議会活動の可視化に関する陳情(その2)
- 議会活動の可視化に関する陳情(その3)
- 陳情書提出機会の創出に関する陳情(その1)
- 陳情書提出機会の創出に関する陳情(その2)
- 陳情書提出機会の創出に関する陳情(その3)
- 陳情書提出機会の創出に関する陳情(その4)
- 青森市議会基本条例第6条の改正に関する陳情
- 青森市議会基本条例制定後の経過発表に関する陳情(その1)
- 青森市議会基本条例制定後の経過発表に関する陳情(その2)

全会一致で不採択となった案件(不採択とすることに賛成:34 反対:0)

- パチンコ依存症対策に関する陳情(その2)
- たばこ対策基本条例に関する陳情(その1)
- たばこ対策基本条例に関する陳情(その2)
- たばこ対策基本条例に関する陳情(その3)
- 市民憲章に関する陳情(その1)
- 市民憲章に関する陳情(その2)
- 市民憲章に関する陳情(その3)
- 青森市内の縄文遺跡に関する陳情(その1)
- 青森市内の縄文遺跡に関する陳情(その2)
- 建築行政における違反建築再発防止策に関する陳情(その1)
- 建築行政における違反建築再発防止策に関する陳情(その2)

- 建築行政における違反建築再発防止策に関する陳情(その3)
- 危険ドラッグに関する陳情(その1)
- 危険ドラッグに関する陳情(その2)
- 青森市の主催する講演会に関する陳情
- 保育の現状に関する陳情(その1)
- 保育の現状に関する陳情(その2)
- 市の収支家計簿換算表示に関する陳情
- 投票率が上がる選挙公報に関する陳情(その1)
- 投票率が上がる選挙公報に関する陳情(その2)
- 特別報酬審査委員会長の議会招致を求める陳情

○賛否が分かれた案件の賛否状況(議員氏名)については、青森市議会ホームページに掲載しています。
○個別議員の賛否については、お電話でのお問い合わせにも回答させていただきます。

致で原案のとおり可決すべきもの
廃止については、いずれも全会一
組合との間の消防団事務の委託の
案、青森市青森地域広域消防事務
する条例等の一部を改正する条例
森市行政手続条例の一部を改正す
委員会条例を廃止する条例案、青
森市行政手続条例の一部を改正す
る条例案、青森市職員の給与に関
する条例等の一部を改正する条例
案、青森市青森地域広域消防事務
組合との間の消防団事務の委託の
廃止については、いずれも全会一
致で原案のとおり可決すべきもの

総務企画常任委員会
11月28日に開催された組織会に
おいて正副委員長互選が行われ
た。(委員は7人に掲載。)12月12
日に開催された委員会では、付託
された条例案5件、単行案2件、
陳情7件が審査された。青森市
特別職の職員の給与に関する条例
等の一部を改正する条例案につい
ては、修正案が提出されたが、起
立採決の結果、修正案は否決とな
り、原案のとおり可決すべきもの
と決定された。青森市情報公開・
個人情報保護審査会条例の一部を
改正する条例案及び青森県市町村
総合事務組合への加入について
は、いずれも起立採決の結果、原
案のとおり可決すべきものと決定
され、そのほかの青森市史編さん
委員会条例を廃止する条例案、青
森市行政手続条例の一部を改正す
る条例案、青森市職員の給与に関
する条例等の一部を改正する条例
案、青森市青森地域広域消防事務
組合との間の消防団事務の委託の
廃止については、いずれも全会一
致で原案のとおり可決すべきもの

委員会の活動

と決定された。また、陳情7件に
ついては、いずれも全会一致で不
採択とすべきものと決定された。

文教経済常任委員会
11月28日に開催された組織会に
おいて正副委員長互選が行われ
た。(委員は7人に掲載。)12月12
日に開催された委員会では、付
託された条例案1件、単行案3
件、陳情5件が審査された。青森
市役所支所設置条例の一部を改正
する条例案、公の施設の指定管理
者の指定(青森市小牧野遺跡保護
センター及び青森市小牧野遺跡観
察施設)、公の施設の指定管理者
の指定(青森市文化観光交流施
設)、公の施設の指定管理者の指
定(アップルヒル)については、
いずれも全会一致で原案のとおり
可決すべきものと決定された。ま
た、陳情5件については、いずれ
も全会一致で不採択とすべきもの
と決定された。

平成26年第3回定例会の閉会後
から同年第4回定例会の閉会まで
の間の常任・議会運営・特別委員
会の活動状況をお知らせします。

都市建設常任委員会

11月28日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は8人に掲載。) 12月12日に開催された委員会では、付託された条例案3件、単行案3件、陳情3件が審査された。青森市都市公園条例の一部を改正する条例案、青森市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案、青森市水道事業条例の一部を改正する条例案、公の施設の指定管理者の指定(青森市新青森駅西口駐車場及び青森市新青森駅南口駐車場)、市道の路線の廃止、市道の路線の認定については、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定された。また、陳情3件については、いずれも全会一致で不採択とすべきものと決定された。

民生環境常任委員会

11月28日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は8人に掲載。) 12月12日に開催された委員会では、付託された条例案10件、単行案2件、諮問5件、陳情6件が審査された。青森市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準

等を定める条例案、青森市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例案、青森市浪岡健康増進施設条例案、青森市児童福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案、青森市指定障害福祉サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び青森市障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案、青森市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例案、青森市下水道条例の一部を改正する条例案、青森市国民健康保険条例の一部を改正する条例案、青森市一般廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例案、青森市病院料金及び手数料条例の一部を改正する条例案、公の施設の指定管理者の指定(青森市立浪岡中央児童館等)、黒石地区清掃施設組合規約の変更に

ついては、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定され、下水道使用料の督促処分に対する異議申立てに係る諮問3件及び下水道使用料の徴収処分に対する審査請求に係る諮問2件については、いずれも全会一致で棄却すべきであると答申すべきものと

決定され、その答申書(案)の作成は、正副委員長に一任された。また、たばこ対策基本条例に関する陳情(その1)、たばこ対策基本条例に関する陳情(その2)、危険ドラッグに関する陳情(その1)については、起立採決の結果、いずれも不採択とすべきものと決定され、そのほかの陳情3件については、いずれも全会一致で不採択とすべきものと決定された。次に、12月18日に開催された委員会では、さきの委員会で棄却すべきであると答申すべきものと決定された諮問5件に対する答申書(案)について審査され、いずれも全会一致で、正副委員長のもとで作成した答申書(案)のとおり答申することに決定された。

議会運営委員会

11月26日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は2人に掲載。) 12月18日に開催された委員会では、付託された陳情39件について審査した。各陳情については、いずれも全会一致で継続審査とすべきものと決定された。(継続審査となった陳情名は13人に掲載。)

各特別委員会

○雪対策特別委員会：11月28日に設置され、同日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は2人に掲載。) 12月12日に開催された委員会では、理事者から所管事項についてのこれまでの取り組みと今後の対策について説明があり、質疑応答が行われた。

○まちづくり対策特別委員会：11月28日に設置され、同日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は2人に掲載。) 12月12日に開催された委員会では、理事者から所管事項についてのこれまでの取り組みと今後の対策について説明があり、質疑応答が行われた。

○議会広報広聴特別委員会：11月28日に設置され、同日に開催された組織会において正副委員長互選が行われた。(委員は2人に掲載。) 12月12日に開催された委員会では、議会事務局から所管事項についてのこれまでの取り組みと今後の対策について説明があり、質疑応答が行われた。引き続き、付託された陳情26件について審査した。各陳情については、いずれも全会一致で継続審査とすべきものと決定された。(継続審査となった陳情名は13人に掲載。)

次の定例会はおおむね3月の予定です

編集後記

平成26年10月の市議会議員選挙後、初の臨時会・定例会が開催されました。市民のための政策・事業の必要性を判断するためには、議会の能力を高め、市民の負託に応えることが求められています。「市議会だより」も市民の皆様の手にとつていただけるような改善を進めていきます。(渡部 伸広)

議会広報広聴特別委員会

委員長 渡部 伸広
副委員長 奈良岡 隆
委員 山脇 智
軽米智雅子
天内 慎也
里村 誠悦
木下 靖

橋本 尚美
中村美津緒
木戸喜美男
中村 節雄
仲谷 良子

発行：青森市議会
編集：議会広報広聴特別委員会

〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
TEL：017-734-5743 FAX：017-734-5824
ホームページ
http://www.city.aomori.aomori.jp/
contents/gikaijimukyoku/gikai-giji/

あおもり市議会だよりは古紙が含まれています